

# 障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくり 「折りたたみ式ゴミかご」の製作



ぼくの色箱  
bokuno-irohako

## カフェと工房ぼくの色



### 事業目的

障害を抱える子どもたちの将来の仕事の1つとなることを目指して、地域の方々が日常的に使用する折りたたみ式ゴミかごを製作する。

### 現状と目標

#### 背景

障害を抱える子どもが増える一方で、個々に合った施設や就労先などの居場所が少ない状況や、個々の得意を發揮できる環境での社会的自立の難しさがあります。

#### 取り組み 障害特性に応じた仕事づくり

沼津市内の各自治会が市の補助を受けながら整備を進めており、近年「環境意識の高まり」や「設置場所を選ばず・安価な折りたたみ式かごの登場」により、整備に対するニーズが高まっている「ごみ集積施設」に着目。製品の構造がそれほど複雑ではないこと、ゴミかごを覆うネットの補強作業やネットを枠に留める作業などが、一度習得した作業を正確に繰り返し行うことができる特性に合っていることなどから、「折りたたみ式ゴミかご」の製作が将来の仕事の1つになるのではと考え、本事業に取り組みことにしました。

#### 目標

1. ゴミかご 10 個を試作し、10 の自治会で試用
2. 製品版の仕様決定と販売に向けた製品紹介

### 活動と成果

#### 製品の試作

2種類(大・中)のゴミかごを計10個試作し、9の自治会で試用。  
(試用を辞退されたゴミかごを1つ使い、製品化に向けた検証作業を実施)

#### 製品版の仕様決定と販売に向けた製品紹介

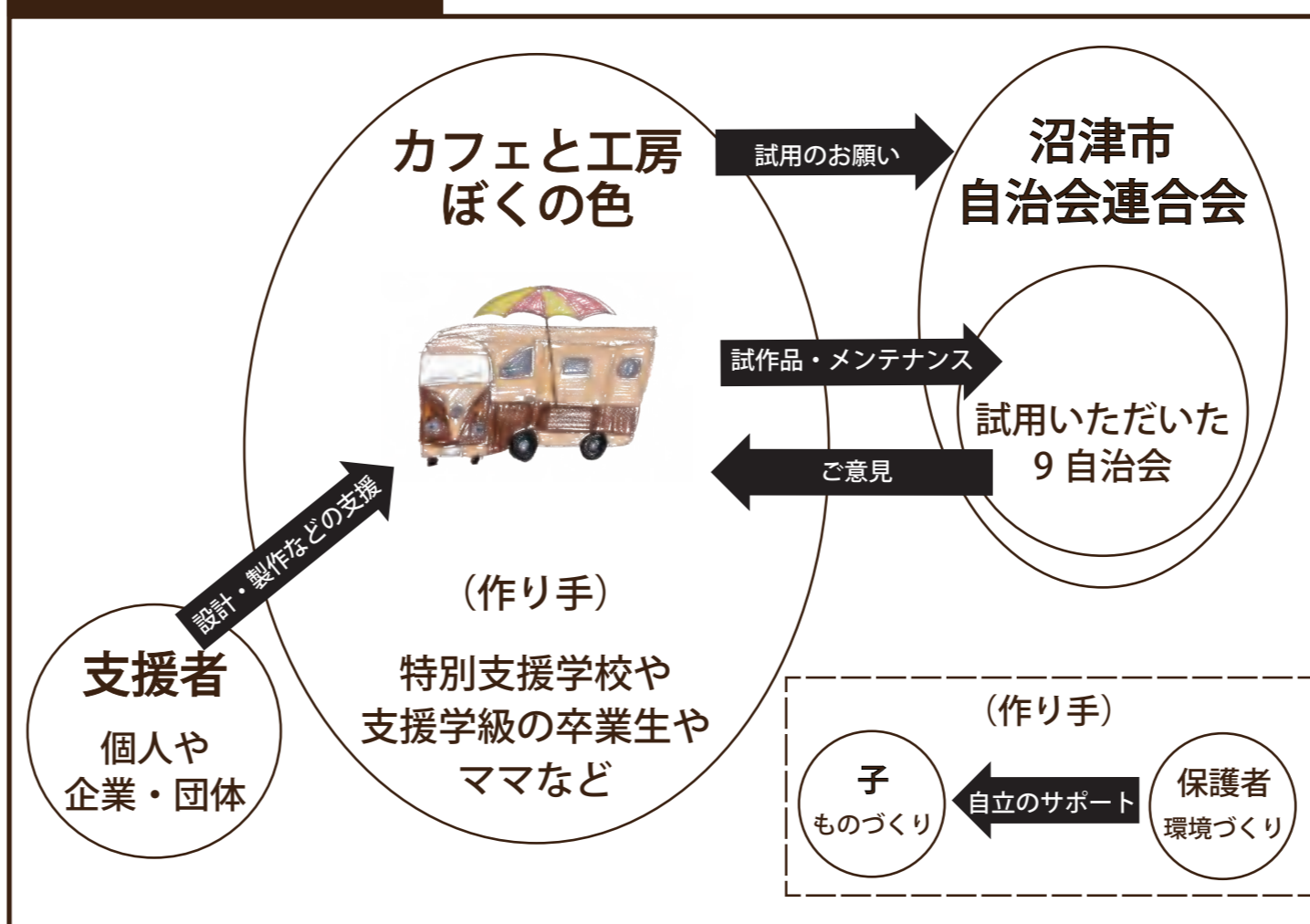
試用によるご意見を踏まえて製品版の仕様を決定。製品紹介チラシを制作し、沼津市役所環境政策課などの窓口で配架。

【ゴミかご設置の様子】



### 関連図

#### 事業を通じてつながった人



### 振り返りと課題

本事業の実施を通じて、障害を抱えていても素晴らしい能力を發揮したり、作業に集中して取り組めることなど、働き手としての力や将来の可能性を示すことができたのではないかと思います。また、障害者との接点がなかった地域の方々と関わりが生まれ、障害理解が深まり、身近に感じていただけたものと思います。

将来も継続できる仕事としていくため、製作時間の短縮や製品の質の向上、顧客のニーズに合わせたゴミかごの改良などを進めていきます。全国的な課題でもある、障害を抱える人たちの役割づくり・仕事づくりや地域社会の障害理解に繋がることを目指し、取り組んでいきます。

### 広報

- 2022/11/29 (火) 沼津朝日新聞に掲載
- 2022/12/7 (水) 静岡新聞夕刊に掲載
- 2023/7/19 (水) 知事広聴で紹介

2022年度 沼津市民間支援まちづくりファンド採択事業

## 折りたたみ式ごみかご

# ぼくの色箱

bokuno-irohako

税込価格 ¥44,000

幅170 cm / 奥行60 cm / 高さ83 cm / 重さ8kg

※ご希望サイズでの制作も可能です (サイズによって価格が変わります)

カフェと工房ぼくの色

### 仕様のご紹介

「地域の方にいただいた声を反映して製品が完成しました!!」

- 購入後1年目と2年目に 無料メンテナンス(ネット補修・清掃・プレート交換)
- 金属不使用で 錆びない・腐らない(塩害地域も安心)
- 軽くて折りたたみラクラク!!

1足付き3cm / ネットが破れにくい!!

1編み目幅1.9cm / 日本製の丈夫なネット!!

#### プレートのご紹介

A3サイズ(297mm×420mm)

- 自治会名やごみ収集の日などご希望の文字をお入れします
- イラスト入りです(イラストの持ち込みも可能です)

〇〇町自治会〇組

月/水 想やすみの日  
水 プラスチック製容器包装の日

©KOTARO ©ISA-YA

作り手は特別支援学校や支援学級の卒業生やママなど。彼らが全ての作業工程を担えるように、手順の検討や治具の製作をしました。特性に応じた仕事と社会参加の場をつくり、社会的自立を目指します。

～ご注文方法～

折り込みの注文用紙を FAX またはメールでお送りください  
〒418-0001 沼津市 418-0001 bokunoirohako@gmail.com

こちらのQRからもご注文いただけます

カフェと工房ぼくの色  
www.bokunoiro.com